

揺れやすさマップ

高根地域

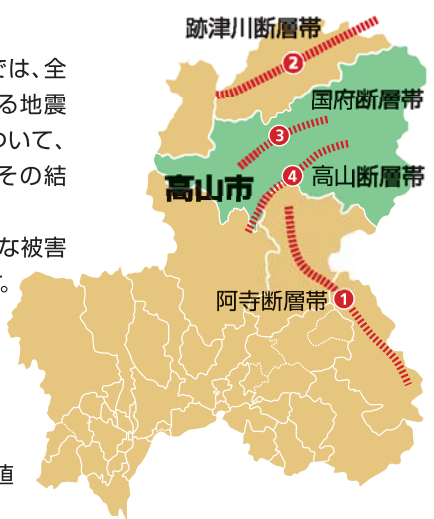
高山市周辺の地震

政府（地震調査研究本部）、岐阜県では、全国、岐阜県下において今後発生する地震の規模が大きいとされる断層帯について、震源断層の位置や形状を調査し、その結果を公表しています。

このうち、高山市において特に大きな被害が予想される断層帯は次の4つです。

- 阿寺断層帯 M7.8程度
- 跡津川断層帯 M7.9程度
- 国府断層帯 M7.2程度
- 高山断層帯 M7.6程度

このマップは、これらの地震の最大値震動を重ね合わせたものです。（Mはマグニチュード）



家の内外の地震対策を進めよう

地震対策は皆さんひとりのいは家族が協力して普段から備えておく必要があります。建物やそのまわりにあるもの、家の中の**家具やガラス**など、地震に対する安全性についてチェックし、**補強や配置換え**などを行っておきましょう。

アンテナはしっかりと固定しておく。

屋根瓦やトタン屋根を点検し、危険なものは撤去する。瓦葺き屋根に依頼して修理・交換する。

柱・梁・土台を補強する。

窓などの板ガラスには、飛散防止フィルムを全面に貼る。

カーテンは防炎加工のものにする。

非常持ち出し袋を常備する。

ガラスの破片によるけがを防止するため、スリッパなどの室内履きを身近に用意しておく。

プロパンガスボンベは上下2本の鎖で壁にしっかりと固定する。

常備水を貯めておく。

火元に消火器を設置。

基礎を補強する。

ガラス飛散防止フィルムを貼る。

扉に留め具をつける。

壁や基礎にひび割れなどがないか。腐ったり、シロアリに食われていないか点検する。

揺れるものはひもで固定。

寝室には物をおかない。

机元には懐中電灯、ラジオ、靴、雷などが入った袋を用意する。

タンスなど背の高い家具はL型金具や支え棒で固定する。

ブロック壁でなく生け垣を。

車には、バール、ジャッキ、テント、毛布、寝袋、ビニールシートなどを用意する。

- 大きな家具は人の出入りの少ない部屋にまとめて置くようにする。
- 玄関や廊下には家具や荷物を置かない。
- 高齢者や子どものいる部屋や寝室には、倒れやすい家具は置かない。

揺れやすさマップ 凡例

- 震度4以下
- 震度5弱
- 震度5強
- 震度6弱
- 震度6強
- 震度7

「揺れやすさマップ」の見方

「揺れやすさマップ」とは、高山市域およびその周辺を震源とする地震が発生した場合の地面の揺れの強さを50mメッシュで想定し、「震度階級」として色で表現したものです。揺れの強さは表層地盤によって大きく異なり、軟らかい場所は、硬い場所にくらべ、揺れはより大きくなります。



かなりの恐怖感があり、吊り下げ物は大きく揺れ、棚などの食器類は音をたて、すわりの悪い置物が倒れる。電線が大きく揺れる。



多くの人が身の安全を圆うとする。書棚の本が落ちたり、家具が移動し、窓ガラスが割れ落ちることがある。耐震性の低い建物の壁や柱に破壊や亀裂が走るものがある。



非常に危険を感じ、多くの人が行動に支障を感じる。棚の食器類、書棚の本が落ちることがある。テレビが落下し、タンスなどの家具が倒れることがある。ブロック壁や自動販売機、墓石等が倒れることがある。



立っていることが困難になる。重い家具等が移動、転倒する。かなりの建物で壁のタイルや窓ガラスが破壊、落下する。耐震性の低い木造建物では、倒壊するものもある。



走れないと動くことができない。多くの建物で壁のタイルや窓ガラスが破壊、落下する。耐震性の低い鉄筋コンクリートの建物では、倒壊するものがある。



自分の意志で行動できない。耐震性の高い建物でも傾いたり破壊するものがある。大きな地割れ、地すべり、山崩れ等が発生し、地形が変わることもある。

朝日地域

長野県

揺れやすさマップ 高山市全域



拡大地図

